

防災行政無線・防災情報メールなど

防災行政無線

災害のおそれがある場合や災害発生時は防災行政無線による情報伝達を行っています。日頃から防災行政無線戸別受信機の使用を確認しておきましょう。

【ランプのはたらき】



名称	色	点灯	点滅
②ライト	白	・②ライトを押したとき ・停電の際、電源が乾電池に切り替わったとき	緊急放送を受信中
③乾電池	赤	乾電池での動作中	乾電池が消耗している、または、乾電池が入っていないとき
④AC	緑	AC100Vでの動作中	・放送を受信中 ・圏外の場合
⑤録音	橙	放送録音中	未再生の放送が録音されているとき
	緑	留守録音設定中	留守録音を設定中かつ未再生の放送が録音されているとき（橙と緑が交互に点滅）
	赤	—	故障（役場総務財政課に連絡をお願いします）

【ボタンのはたらき】

名称	動作内容
①緊急解除／停止	・緊急放送を受信した場合は最大音量（②ライトが点滅）になりますので、通常の音量の戻したいとき（ボリュームの位置の音量）は押してください。 ・再生中に押すと、「フ」と音が鳴り、再生を停止して、待ち受け状態に戻ります。
②ライト	押すと、ライトを手動で点灯または消灯します。
⑤録音	・放送受信中に押すと、その時点から放送が録音されます。（※基本使用しません。下の赤字をご覧ください。） ・待ち受け時に押すと、「ビ」と鳴り、留守録音が設定されます。設定された状態で押すと、「ビビ」と鳴り、留守録音が解除されます。 役場からの放送は自動で録音されますので、設定しているとチャイム放送（音楽）も録音され、役場からの音声放送の録音容量が少なくなりますので通常は設定しないでください。（録音時間は最大で40分です）
⑥戻る	・再生中に押すと、「ビ」と音が鳴り、現在再生している放送の最初から再生します。（放送の頭出し） ・再生中の放送の冒頭で押すと、「ビビ」と音が鳴り、1つ前の放送に戻って再生を開始します。 1つ前の放送が無い場合は、再生している放送の最初から再生します。
⑦再生／次へ	・録音ランプが点滅している際に押すと、「ビ」と音が鳴り、最も新しい未再生放送から順に未再生の放送を連続で再生します。各放送の再生開始時には「ビ」と音が鳴ります。全て再生すると「フ」と音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。 ・録音ランプが点滅していないときに押すと、最も新しい放送から順に連続で録音されている放送全てを再生します。全ての放送の再生が終了すると、「フ」と音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。 ・再生中に押すと、「ビ」と音が鳴り、次の放送を再生します。 再生中に放送を受信した場合は、再生を中断して、放送の受信を優先します。

ご注意：⑦再生ボタンを押しても、すぐに再生されませんので、再生されるまで5～10秒お待ちください。

- *乾電池が点滅（赤）：** 乾電池が消耗している、または、乾電池が入っていないときに点滅します。乾電池の交換または乾電池を入れてください。（くわしくは、取扱説明書をご覧ください。）
- *録音が点滅（橙）：** 未再生の放送があるときに点滅します。再生ボタンを押して、放送をお聞きください。放送を聞く必要がない場合（実放送されているときに聞いた等）は、再生ボタンを何度か押してください。「ビ」という音から「フ」に音が変わったら点滅が消えます。
- *録音が点滅（橙と緑）：** 上記の点滅（橙）の操作で、橙の点滅が消えて、緑の点灯に変わります。手動録音設定になっていますので、⑤録音ボタンを押して手動録音を解除してください。録音ランプが消灯します。

防災情報メール（緊急地震速報など）

災害のおそれがある場合や災害発生時に、お使いの携帯電話などを通じて特別な通知音とメッセージが発信されます。村からの情報が出されていない場合でも通知が来たら、災害に備えましょう。

緊急地震速報・安否確認

緊急地震速報とは

地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。緊急地震速報は、地震の強い揺れが来るまでの数秒から数十秒前に発信されますが、その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

テレビ・ラジオ

テレビやラジオを視聴している時に、報知音とともに放送されます。



携帯電話・スマートフォン

緊急地震速報を受信し、報知音とともに伝えられます。



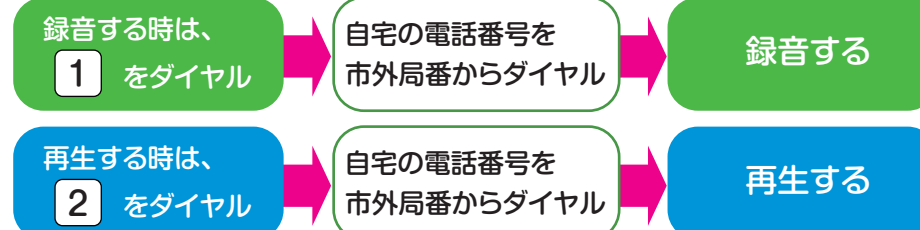
※ただし、震源地に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

災害時の安否確認

震度6弱以上の地震などの大災害発生時には、安否の確認や連絡用に各電話会社から災害時の伝言サービスが提供されます。

災害用伝言ダイヤル（171）

「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。



携帯電話の災害用伝言板

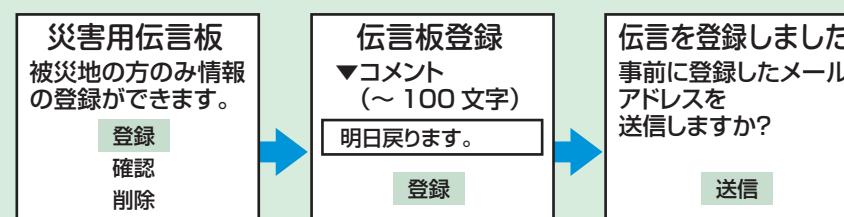
災害時以外でも、上記の伝言サービスを体験できる期間があります。いざという時に伝言サービスをうまく利用できるように、使い方の練習をしておきましょう。

体験使用ができる期間

- ・毎月1日と15日
- ・防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）
- ・防災週間（8月30日～9月5日）
- ・1月1日～1月3日

伝言の登録方法

携帯各社サイトのトップページ
⇒ 登録を選択
⇒ 伝言を入力



伝言の確認方法

携帯各社サイトのトップページ
⇒ 確認を選択
⇒ 安否を確認したい相手の携帯電話番号を入力し、伝言を確認

